

(6) 能生川沿いの森林保全活動

1	実証講座名	能生川沿いの森林保全活動
2	連携先および講師名	新潟県糸魚川地域振興局
3	実施日時	平成28年8月31日(水) 4～6限(3コマ)
4	実施場所	糸魚川市柵口地内
5	受講者	海洋技術コース2年
6	受講人数	20名
7	授業科目名	漁業
8	実施の概要	外部機関との協働による森林保全活動
9	効果およびねらい	調査活動を通して、森林保全が、海の生産に関わることを理解させる。
10	実施内容	権現岳下万年雪フキンで、林業と防災について説明をし、その中の海の生産をたかめるための森林活動があることを理解する。下草刈り等手入れされた植林場所を見て、森林保全の大切さを理解する。実際に5年前に先輩が植えたブナの木近くの草を刈り取る。
11	講座の内容	柵口の植林の概要、森林使用の概要、下草刈り 写真1 下草刈り



写真2
集合写真



写真3
下草刈りの様子



12 効果の検証
および課題

[アンケートの内容]

- 1 下草刈りにはどのような効果がありますか。
- 2 森を保全することと海の生産量を増やすことはどのように関わっていますか。

3 感想

[ねらい]

	<p>1は下草刈りがブナの木にどのような効果があるのかを確認 2は下草刈りをする事で海を保全できることの確認</p> <p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海を保全することを意識しながら、下草刈りをする事ができた。 ・山には、海を保全する以外にもいろいろな機能があることが理解できた。 ・先輩から受け継いだブナの木に驚きがあった。 ・森林保全の大切さがわかった。 <p>下草刈りのみを行うと、単なる草刈りをしたということで終わってしまうので、事前にカキ養殖業者が、カキの質を高めるために山に植林をする事例や、えりも岬の植林によって昆布が戻ってきたことなどの話をし、さらに、ブナの森林の土壌は腐植土層と呼ばれる空気の多い土で、そこで細菌などが、活動してフルボ酸鉄などの栄養を川や海に注いでいるといった知識を与えてから活動を行った。</p> <p>生徒の感想を見ると、何のために草刈りをするのかわからなかったという感想はほとんどなく、海や川を守るという見地に立って活動していることがうかがえた。</p> <p>来年度もこの活動をとおして、森林活動の大切さを伝えていきたい。</p>
--	---